Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/11/02

Fores

	Close	CHANGE
USD/THB	36.17	0.02
JPY/THB	0.2396	0.0012
USD/JPY	150.95	-0.73
EUR/THB	38.23	0.00
EUR/USD	1.0570	-0.0005
USD/CNH	7.336	-0.006
SGD/THB	26.44	0.05
AUD/THB	23.13	0.22
USD/INR	83.29	0.03
USD Index	106.88	0.22

Rond

5.25 5.00 4.75 4.50 4.25 4.00 3.75 3.50 3.25 3.25 2.50 2.25 2.25

20000

15000

10000

5000

-5000

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.896	0.025
10Y (THB)	3.287	0.042
5Y (USD)	4.650	-0.204
10Y (USD)	4.734	-0.197

5Y Bond (Blue:THB, Red: USD)

Fund flow (Blue:Bond, Red:Stock)

29/07/2023 28/08/2023 27/09/2023 27/10/2023

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,987.5	-6.8
WTI (Oil)	80.44	-0.58
Copper	8,109.5	-1.0

Stock

100

95

90

85

80 75

70

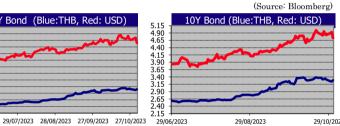
65

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,379.96	-1.87
NIKKEI (JP)	31,601.65	742.80
DOW (US)	33,274.58	221.71
S&P500 (US)	4,237.86	44.06
SHCOMP (CN)	3,023.08	4.30
DAX(GER)	14,923.27	112.93

Fund Flow (Overseas Investors)

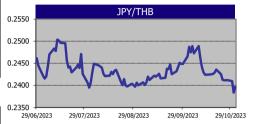
	Close	CHANGE
Stock net flow	(718)	1616.2
Bond net flow	(4,510)	-4802.0

*compared with previous day

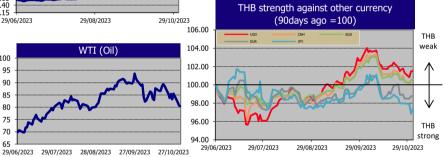




MIZUHO







Yesterday's market summary

29/06/2023

・昨日のドルバーツはほぼ変わらず。36バーツ台前半で取引を開始。海外時間にFOMCの結果公表を控え、多くのアジア通貨が対ドルで軟調に推移する中、ド ルバーツも市場予想対比弱い中国10月Caixin製造業PMIを眺めながら上昇。その後上昇が一服すると、やや水準を戻して海外時間入り。FOMC結果公表を前 に発表された米10月ADP雇用統計、9月JOLT求人件数、10月ISM製造業景況指数は強弱まちまちの結果となり、ドルバーツは上下するも、水準を変えるには至 らず。注目されたFOMCでは市場予想通り2会合連続での金利据え置きが決定され、パウエル議長の会見では次回(12月)の追加利上げの可能性はあるとしな がらも、利上げサイクル終了の可能性も示唆したことから米金利が低下。ドルバーツも連れて下落し、結局前日終値と同水準まで下げると、そのまま36.17レベ ルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。151円台半ばで取引を開始すると、本邦当局者から介入を含めた対応についてより踏み込んだ発言が確認され、151円台前半まで下 落。以降は海外時間にFOMCを控え、且つ介入警戒感も高まる中、上値の重い推移が継続した。海外時間に入り、強弱入り混じる米国経済指標の結果を受け 151円ちょうど付近から前半にかけての推移に。その後、FOMCでの政策金利据え置きの決定、及びパウエル議長の会見を経て、引締め局面終了の可能性が 織り込まれる格好で米金利が低下する中、ドル円も連れて下落。151円を割り込み、150円台後半を付けると、そのまま150.95レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日の米FOMCでは大方の予想通り政策金利の据え置きが全会一致で決定された。2会合連続の利上げ見送りは今次利上げ局面では初となる。声明文や 記者会見では次回12月の利上げの選択肢を残していることが示唆されているが、金融先物市場から計算される利上げ確率は20%程度となっており、いよ いよ米国の利上げサイクルも最終局面を迎えているとの見方が市場では強まっている。先週26日には欧ECBも今局面で初めて利上げを見送っており、こ からは欧米ともにこれまでの利上げの累積効果が自国の経済活動に与える影響を見守るステージに入りそうだ。今週151円台後半まで伸びたドル円は、足 元150円台前半まで下落しているが、日本政府当局からは介入直前に使用される言葉「スタンバイ」が既に発せられている状態であり、欧米の利上げが落ち 着いたこのタイミングでドル円が昨年のピークである152円程度まで再び上昇するようなことがあれば、介入による急落は十分にありうることを頭に入れてお きたい。まずは明日3日の米雇用統計がそのトリガーを引くことになるかに注視。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitaion to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.